

# 明快！ 痛快！ 奥深い！

## 発会1周年のつどい

派兵差し止め訴訟  
弁護団事務局長

### 川口 創 弁護士が記念講演

## “日本はイラクで戦争をしていた”



4月26日、会場となった旧磯原の市防災センターに市内外から50名を超える参加がありました。

**早**いもので、発会してもう一年が過ぎました。これまでの皆様がたのご支援に心からお礼申し上げます。「九条の会」の考え方も少しずつですが市民の皆様がたに理解されてきたように嬉しく感じております。

さて「専守防衛」のはずの自衛隊が、憲法9条を無視するかのよう海外に出向いております。「国際貢献」「人道支援」「復興支援」などなど、政府・マスコミから出されるメッセージは、もったもたの事のように思われることばかり。これでは、9条を変える変えないどころか、もう変えてしまったの？と疑問を抱かせるようなやり方ではないかと、憤りを感じていました。

そして元航空自衛隊幕僚長・田母神論文「先の戦争は侵略戦争ではなく、アメリカ・ソ連・中国に騙されたものだった」。この論文が懸賞金を射止め、防衛省を退職するときには7千万円の退職金を貰った田母神元航空幕僚長。支持する政治家・識者と言われる評論家・大学教授。どうなっているのでしょうか。耳を目を疑いたくなるような事ばかり。

**そ**んなとき 名古屋高裁判決を知りました。昨年8月に「かさま・九条の会」の川口弁護士の講演会を聴講し、そして今回の一周年記念に多忙な川口弁護士に講演のお願いができました。

現在の自衛隊がイラクで何をやっていたのかを知るとともに、「日本は憲法のおかげで62年間も戦争をせず内にも

外にも一人の戦争犠牲者を出していない」とは言えなくなってしまった実態を知りました。アメリカとの共同行動で、イラクの人たちに多数の犠牲者を出しているのです。

これまでのこの種の訴訟は、裁判所が判断を避けるいわゆる門前払い判決があたりまえのようでした。名古屋高裁が「自衛隊のイラク派遣は憲法違反！」と明快な判決を出し、しかも国はこの判決に控訴ができない画期的なものとなりました。

この名古屋高裁判決こそ最高の九条の会への贈り物であり、これからの「九条の会」「平和を願う人たち」が何をしなければならぬか、教えてくれた実にタイムリーな講演会だったと思います。

**講**演の内容は、一口では説明できませんが、ただ一つ「知らない事の重大性（罪深さ）」を話されました。先の戦争のことを振り返りますと、今も変わっていない、という不安を覚えます。マスコミ報道の怖さと言葉のまやかさ（「国際貢献」など）を思うとき、ますます「九条の会」の使命を思わざるを得ません。

皆さんと一緒に学び、2度と愚かな道をたどることのないように頑張っていきましょう。

(世話人代表 藤田稜威雄)

No.15

09.06.01

連絡先：46-5611(藤田)  
46-0097(西村)  
42-2462(鈴木)

インターネット <http://go.gob.jp/go/9>

## 北茨城・九条の会 ニュース

「北茨城・九条の会」に賛同いただいた皆さんにお届けします。お知り合いにも広げて下さい。話題やご意見をお待ちします。

6月例会

6月20日(土曜)。くわしい案内は別紙に。

## 市内の戦跡めぐり

お誘い合わせてご参加ください。



長浜海岸のちかくに残る風船爆弾の放球台跡

# 2009年 憲法フェスティバル

参加記  
中郷町 伊藤 満 さん



ごえなどの音楽、戦争体験を聞く会、9条の会交流会、雇用と暮らしの何でも相談、模擬店・フリーマーケットなど、盛り沢山の企画でした。

午後からは、非正規雇用者の権利を守るべく活動している笹山尚人弁護士が「人が壊れていく職場」と題して講演。現代の職場の状況と、反撃に立ち上がる労働者の姿を語りました。次いで、戯作者の松崎菊也氏が歴代総理の物真似などで政治のデタラメさを語り、爆笑を誘っていました。

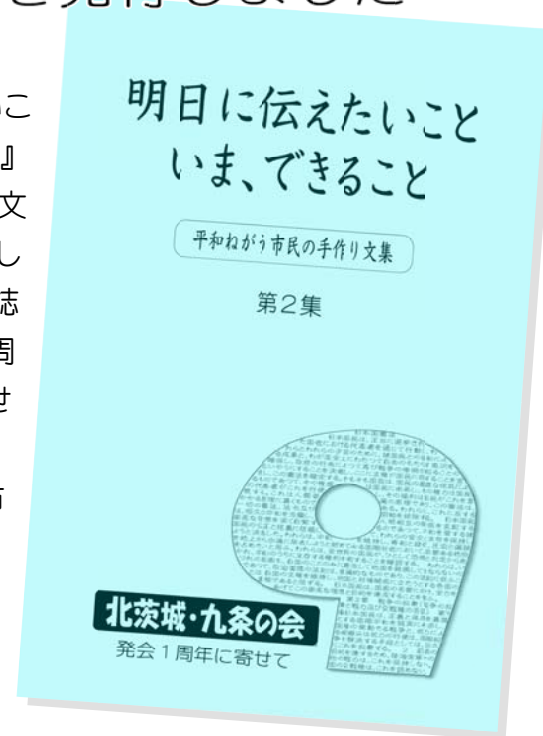
戦争放棄を定めた第9条、生存権を認めた第25条など、日本国憲法の持つ先進性について改めて認識しました。現状では、それがないがしろにされていますが、もっともつと生かさなければならぬと思った一日でした。そうそう、第99条は国会議員や公務員などが憲法を尊重し擁護する責任があると謳っています。守ってもらおうじゃないの！

平成21年5月吉日

## 平和ねがう市民の手作文集

### 第2集を発行しました

『明日に伝えたいこと  
いま、できること』と題する手作りの文集の第2集を完成しました。発会記念誌の続編として、1周年のつどいに合わせて発行したものです。つどい参加者に配布したほか、200円で頒布中です。お問い合わせは世話人まで。



憲法フェスティバルが、5月3日の憲法晴れのもと、水戸市の千波湖畔にある「はなみずき広場」で開催され、1000人余の参加で終日賑わいました。毎年恒例になっていますが、今年は第9条などの平和憲法擁護というばかりでなく、「いまこそ生かそう 憲法」と銘打ち、生存権を謳った第2

5条などについても焦点を当てているようでした。

パネル展示、ジャズ・フォーク・うた

### ミソコウザウルス

永田町に橋息し、  
アメリカ言いなり寿司も好き。  
しょうひ喘息にかかり、発作時は、  
ゾウゼー、ゾウゼーと喘ぐ。  
身体が傾いていて、歩くと  
右へ右へと曲がってしまう。



手作りの着ぐるみ「ミソコウザウルス」の扮装で会場入りした筆者。打ち合わせをしたわけでもないのに、子どもたちに袋だたきにされてしまいました。

## 一歩でも二歩でも、と一緒に「国民平和大行進」

6月26日(金曜)  
大津港駅～日立

核兵器の廃絶を訴える「国民平和大行進」が今年も全国で取り組まれています。このうち北海道～東京のコースは、5月6日に北海道の礼文島を出発し、5月31日には津軽海峡を渡って青森県に入りました。

東北地方を縦断した後、6月25日に福島県から茨城県に引き継がれる予定です。6月26日(金曜)の朝に大津港駅前を出発し、日立市役所まで行進をつなぎます。どうぞ一緒に歩みをすすめましょう。

昨年6月27日、北茨城の豊田市長から激励を受ける行進団。(磯原駅前にて)

